

山梨県立 考古博物館だより

NO. 70

<http://www.pref.yamanashi.jp/kouko-hak/>

発行 山梨県立考古博物館
発行日 平成22年10月8日

〒400-1508 山梨県甲府市下曾根町923
TEL 055-266-3881 (代) FAX 055-266-3882

第28回特別展

発掘された女性の系譜

女性・子ども・家族の造形



茨城県 大平黄金塚古墳出土

乳飲み児を抱く女性埴輪

女性にかかわる出土品から女性の軌跡をたどります

10月9日(土)～11月28日(日)

会期中無休

ごあいさつ

今年で28目を迎えます山梨県立考古博物館では、第28回特別展「発掘された女性の系譜～女性・子ども・家族の造形～」を開催します。本年度の特別展では、「女性」にスポットを当て、縄文時代から古墳時代の女性に関連した遺物を中心に、歴史の中で女性がどのような役割を担ってきたのか考えます。

県内で出土した土偶を始めとする洗練された女性像はもちろんのこと、女性をかたどった埴輪や子どもの成長を願って作った子どもの手形や足形など、東日本を中心とした各県から出土した女性に関する遺物約400点を展示し、古代から続く女性の役割や魅力に迫って参りたいと考えております。一万年以上前の古に思いを馳せ日本各地で出土した逸品の数々を、是非この機会に直接ご覧下さい。

平成22年10月

山梨県立考古博物館 館長 榊原 章男

第28回特別展

発掘された女性の系譜

女性・子ども・家族の造形

いつの時代も、人口の約半分は女性が占めています。しかしとかく男性中心に語られがちな歴史の中で、実は女性が歴史を動かしてきたともいわれています。

それでは歴史の中で、女性はどのような役割を果たしてきたのか。そして女性の役割はいついどんなものであったのか。その他にも現代の女性にも通じるお産の苦しみ、母として子どもへの想い、美しさへのこだわりなど、東日本を中心とした各地の発掘調査で出土した考古資料から、女性の軌跡をたどります。

右は群馬県太田市の塚廻り4号墳から出土した大刀を持つ重要文化財の巫女埴輪です。古墳時代後期（今から1,500年前ほど前）に作られたものです。巫女は神様に仕える女性で、古墳時代の儀式でいろいろな役割を担っていました。たくさんのアクセサリを身につけ、美しい衣装を着ており、当時の姿を知る貴重な資料です。注目されるのは、巫女が大刀を持っている点で、巫女埴輪が大刀を持つ例はあまりなく、女性の役割を知る一例です。

このほかにも女性を中心とした人物埴輪13点（このうち重要文化財2点）や、埴輪が身につけているアクセサリ、女性が葬られた古墳の副葬品などを展示します。

群馬県塚廻り4号墳：大刀を持つ盛装の女性埴輪▶



プロローグ／女性像の出現 約12,000年前の女性像が出現

日本列島に女性をかたどった遺物が出現する、おおよそ1万2千年前の縄文時代草創期から早期。ここでは、愛媛県上黒岩岩陰遺跡から出土した女性線刻礫（れき）を展示します。

・女性線刻礫（愛媛県久万高原町上黒岩岩陰遺跡）

1 女性の素顔 縄文時代の女性の顔って・・・意外と美人です

遺跡から出土した人骨から、当時の女性の顔を再現しました。さらに服・髪型・アクセサリなど、縄文時代の女性の姿を垣間見ることができます。

- ・長野県茅野市棚畑遺跡出土土偶（国宝） ※展示は複製品
- ・縄文女性復顔・貝製アクセサリ（長野県北相木村栃原岩陰遺跡）
- ・骨角製アクセサリ（重要文化財）（宮城県石巻市沼津貝塚）など

★重要文化財18点

長野県棚畑遺跡：土偶（国宝）※展示は複製品▶



2 女性の造形とその変化 女神・夫婦・巫女 埴輪女性の役割の変遷をたどる

縄文時代の人口増加、さらには動植物の豊穡を願って作られた女性像から、古墳時代の巫女をかたどった女性埴輪まで、女性像の背景から役割を見い出します。

- ・つき環を奉獻する巫女埴輪（栃木県小山市飯塚31号墳）
- ・しゃこうま遮光器土偶（秋田県藤株出土）
- ・巫女埴輪（重要文化財）（群馬県太田市塚廻り4号墳）など

★重要文化財8点

栃木県飯塚31号墳：環を奉獻する巫女埴輪▶



3 出産と子育て 縄文時代も現代も子どもへの親の気持ちはかわらない

出産の苦しみ、喜び、親の子どもへの想いなどは縄文時代も現代も変わりません。出産・育児の歴史をたどります。

- ・手形・足形土製品（重要文化財）（青森県六ヶ所村大石平遺跡）
- ・人体絵画土器（長野県富士見町唐渡宮遺跡）など

★重要文化財 7 点

青森県三戸町目時出土：子どもの手形・足形土製品▶



4 女性の装いと道具 いつの時代にもおしゃれや美しさにこだわった女性たち

いつの時代も女性はおしゃれ。縄文時代から近代までのアクセサリを展示します。

- ・漆塗櫛（栃木県小山市寺野東遺跡）
 - ・耳飾りをつけた土偶（山梨県都留市中谷遺跡）など
- ※展示品は複製品

エピローグ

江戸時代の墓の副葬品から長い長い歴史を経て、女性はいま輝いている

江戸時代の女性の墓から出土した副葬品から、タバコを吸う女性など、当時の女性の習慣を紹介します。

- ・キセル・火打金こうがい・筭くわ（山梨県北杜市塩川遺跡）など

第28回特別展「発掘された女性の系譜～女性・子ども・家族の造形～」のご案内

開催期間…10月9日（土）～11月28日（日）期間中は休まず開館します。

観覧時間…午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

観覧料…一般・大学生 600（480）円 小・中・高校生 300（240）円

※（ ）内は20名以上の団体料金

※常設展の観覧は、別途常設展観覧料が必要です。

※特別展＋常設展セット券（共通観覧券）は個人・団体関係なく一般・大学生640円、小・中・高校生320円となります。

※11月20日（土）県民の日は観覧無料です。



関連するイベントのお知らせ

特別講演会

10月10日（日）

「縄文土器にみる母子の神話像」

講師：井戸尻考古館 館長 小林 公明氏

11月7日（日）

「装身具からみた古墳時代の女性像」

講師：奈良芸術短期大学 非常勤講師 玉城 一枝氏

11月21日（日）

「縄文人のお産」

講師：山梨県埋蔵文化財センター 所長 小野 正文氏

史跡文化財セミナー

10月24日（日）「米倉山と周辺の古墳群」

講師：当館学芸課長 保坂 康夫

考古博物館の日＜お申込み不要＞

10月30日（土）・11月27日（土）

「古代衣装を着よう」

〈追加日程〉10月31日（日）・11月13日（土）

ぬりえを塗って考古博物館へ行こう！

埴輪や土偶のぬりえを塗って考古博物館へ持って来てくれた小学生は特別展観覧料が無料になります。



講演会・セミナーなどのお申し込み・お問い合わせ

山梨県立考古博物館 055(266)3881

インターネット・携帯電話からもお申し込みいただけます

○新指定文化財展○

甲府城跡出土飾瓦（151点）が新しく山梨県指定有形文化財（考古資料）になりました。（平成22年3月31日指定）

これを記念して当館エントランスホールにて平成22年6月17日から9月30日の期間で「新指定文化財展」を開催しました。

鬼瓦や家紋の入った飾り瓦などを展示しました。



矢印は、金箔の
見られるところ



文化財名：有形文化財（考古資料）

「甲府城跡出土飾瓦」

出土場所：甲府市丸の内一丁目地内
県指定史跡甲府城跡

所有者：山梨県

指定名称及び点数：甲府城出土飾瓦類 151 点

時代：文禄・慶長年間～幕末（1590年代～1860年代）

第22回 風土記の丘こどもまつりを開催しました

今年は5月2・3日の2日間、風土記の丘・曾根丘陵公園をメイン会場に開催しました。2日間で5000人近くの方に来場いただきました。毎年大人気の「勾玉作り」、「トンボ玉作り」、「古代の貨幣作り見学」など様々なアトラクションで楽しみながら、古代への興味、関心を高めていただきました。



◇アトラクション内容◇
 「古代の火起こし」体験→まいぎり式火起こし器で火起こしを体験!!
 「ペーパークラフト」→ペーパークラフトで歴史を学習!
 「狩猟体験」→弓矢での狩猟体験!!
 「古代と遊ぼう」→埴輪を的にした輪投げや、土器や土偶のバズルにチャレンジ。
 「勾玉作り」体験→親子で古墳時代のアクセサリー勾玉作り!
 「トンボ玉作り」体験→古代の装身具作りに挑戦!!
 「縄文土器太鼓」体験→岡谷市民が中心の『JOMON DOKI DRUM BAND 森の精霊』の演奏に参加して太鼓をたたこう。
 「土器で炊く古代のご飯体験」→土器で炊いたおいしい「古代風ご飯」を味わいます。
 「史跡クイズウォークラリー」→曾根丘陵公園内や博物館内にあるクイズを解きながら公園内を散策!
 「古代の貨幣作り」見学→古代の雰囲気、炉で青銅を溶かし鑄型に流し込む貨幣作り作業を見学。
 「鹿肉薫製」試食→縄文風スナックの鹿肉薫製を試食!

小・中学生親子のものづくり教室

チャレンジ博物館

- * 第1回「弥生時代の矢じりをつくろう」(5/16)
石をけずり、みがいて、当時の矢じり(矢の先端部)をつくることを通して、磨製石器をつくる技術を体験しました。
- * 第2回「縄文時代のアクセサリーをつくろう」(6/20)
博物館に展示されている県内の出土品を参考にして、けつ状耳かざりをつくりました。
- * 第3回「縄文土器をつくろう」(7/18～8/8)
夏休み恒例のイベント。県内出土の実物をモデルに、天然ものの粘土を素材にして土器づくりの技術を学びました。
- * 第4回「縄文時代のかごをつくろう」(8/22)
「縄文ポシェット」を参考に、小さめのかごづくりをしました。小さめのかごを作りながら、縄文時代の「編む」技術を体験学習しました。



大人のものづくり教室

原始古代の技に学ぶ

- * 第1回「勾玉とガラス小玉作り」(4/17)
- * 第2回「トンボ玉作り教室」(4/24)
- * 第3回「海獣葡萄鏡を作る」(5/15・23)
- * 第4回「縄文土器作り教室」(5/29・6/5・19)
- * 第5回「トンボ玉づくり教室」(6/26)
- * 第6回「琥珀で勾玉をつくる」(7/10)
- * 第7回「草木染め教室 藍染め」(8/28)
- * 第8回「青銅鏡作り体験」(9/18)



※ものづくり教室は、10月以降も開催いたします。ご案内は6ページをご覧ください。

夏休みフリーパスポートで考古博物館をENJOY!!

今年も県内の小中学生に「4館夏休みフリーパスポート」が配布されました。この夏休みフリーパスポートは、県立博物館、美術館、文学館、当館の4館が行っているもので、7月10日～8月31日の期間、児童・生徒がこれを持参すると何回でも観覧料が無料になります。今年は例年を上回る猛暑となった夏でしたが、多くの児童・生徒さんが来館してくれました。

また、これにあわせて7月17日(土)から8月31日(火)までイベントを開催しました。夏休みの社会科の課題研究で都留から一人でバスに乗って博物館に来館して、県内の古墳について熱心に学習し、記念に拓本体験を行った男子中学生。滑石で勾玉を作り、それを嬉しそうに首にさげて帰っていった女の子。暑い中、銚子塚古墳と丸山塚古墳に汗だくで登り、合い言葉を見つけてきてくれた小学生たち。兄弟でトンボ玉作りに参加してくれた中学生や友達と協力して火起こしに挑戦した小学生。大勢のみなさんが、夏休み中、考古博物館でいろいろな体験をして楽しんでくれました。

作った拓本カードを持ってピース



拓本カード



☆開催イベント☆

「トンボ玉をつくらう!」、「青銅鏡をつくらう!」、「古代の火おこしにチャレンジしよう!」、「勾玉をつくらう!」、「土器の拓本カードをつくらう!」、「古墳にのぼって合い言葉を見つけよう!」

★史跡文化財セミナー

県内の史跡を歩いて探訪する史跡文化財セミナー、第44回「久遠寺と門前町『身延』」では、身延町教育委員会の坂口広太先生、身延山大学名誉教授の望月海淑先生のお二人を講師に、日蓮宗総本山の久遠寺とその周辺寺院や宿坊を歩きました。第45回「能見城防塁と新府城」では、葦崎市教育委員会の間間俊明先生を講師に、現在もその跡が残る新府城内の様子や能見城防塁の状況をお話頂きました。第46回「富士山信仰と浅間神社」では、富士吉田市歴史民俗博物館の布施光敏先生を講師に、信仰としての富士山の姿と浅間神社の歴史について現在もその面影を残す上吉田地区の「御師宿坊」の町並みを歩きながら学習しました。多くの方にご参加いただき、有意義な学習を行うことができました。

第44回「久遠寺と門前町『身延』」(身延町) 4月29日(木・祝)

○覚林坊、久遠寺三門と石段、御草庵跡、樋之沢坊の門、久遠寺五重塔など

第45回「能見城防塁と新府城」(葦崎市) 6月13日(日)

○新府城跡(東・西出構、本丸跡、三日月堀など)能見城防塁、黒駒神社など

第46回「富士山信仰と浅間神社」(富士吉田市) 8月1日(日)

○金鳥居、旧外川家住宅、富士山元講、浅間神社、上行寺、山之神社など



身延山三門前で説明する望月海淑先生

★考古学講座「女性研究者が語る考古学最前線」

今年度は「女性研究者が語る考古学最前線」と題して、4名の先生方をお招きし、古代の暮らしや生産活動など、女性研究者たちの研究成果を女性ならではの視点からわかりやすく講義していただきました。各回とも約40名の参加をいただきました。

また4回すべての講座を受講された方が21名おり、修了証をお渡ししました。参加者のみなさまの関心の高さに驚きました。

第1回「縄文時代の女性たち～釈迦堂遺跡出土遺物から～」

6月6日(日)

第1回考古学講座の様子

第2回「甲斐黄金村ものがたり～湯之奥金山遺跡の発掘調査と博物館活動～」

6月27日(日)

第3回「鏡よ鏡～その輝きに魅せられたわたしたち～」

7月18日(日)

第4回「女性の考古学よもやま話」

8月8日(日)



★第1回こうはくdeタッチ&トーク

縄文土器がいっぱい！考古博物館収蔵庫バックヤードツアーで縄文土器に触っちゃおう～夏休みの自由研究にもピッタリ！～

今年度からの初企画として、8月7日(土)に普段は見られない考古博物館の収蔵庫見学や本物の縄文土器を触ったり、土器の拓本体験を行うイベントを開催しました。夏休み期間中ということで家族で参加された方が多かったです。



★考古博物館の日

今年度から月の第4土曜日を考古博物館の日とし、ミニイベントを開催しています。第1・2回では、勾玉などのアクセサリーを実際に身につけていただき、古代人の雰囲気を感じてもらいました。第3回目は小さいお子様たちを中心に土器や土偶が描かれたぬりえを好きな色をぬってもらいました。

4/24・5/29「古代アクセサリーをつけよう」

6/26「縄文ぬりえをぬろう」



写真右：縄文ぬりえと記念撮影

写真左：アクセサリーと衣装を身につけた参加者

～春・夏の企画展から～

○春季企画展「古代のアクセサリー～古代人の宝石箱をあけてみよう～」

4月24日(土)～6月27日(日)

現代は男女を問わず身につけられるアクセサリー。しかし古代、アクセサリーには、さまざまな意味がありました。発掘された美しいアクセサリーを紹介しました。



○夏季企画展「縄文時代の大型土器～世界最大級の土器を見にこうし～」

7月17日(土)～9月5日(日)

今から約5,000年前の縄文時代中期。その頃の山梨では、盛んに大きな土器が作られました。その大きさは、小さな子どもが中にすっぽり入ってしまうほどです。そんな大型土器の持つ圧倒感や迫力感、美しさを紹介しました。



考古博物館 10月から3月までの催し物

ものづくり教室

チャレンジ博物館（小・中学生・親子対象）

縄文人のごちそう どんぐりを味わってみよう 10月24日（日）
縄文人が主食で食べていたという「木の実」。その木の実を拾って実際に味わってみます。

弥生時代の稲かりに挑戦しよう 11月31日（日）
弥生時代、稲の穂を刈ったという石の道具「石包丁」を石を削って作ります。さらにその作った石包丁で古代米を刈ってみます。

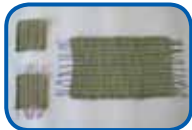
ユニークな土偶をつくろう 11月14日（日）
古代の青銅鏡をつくろう 12月12日（日）、19日（日）
干支の土鈴をつくろう 1月9日（日）

縄文時代の土の鈴。その形やつくりを応用して、干支であるウサギをモチーフにして作ります。

縄文時代の布を編んでみよう 2月13日（日）
縄文時代以来の技法「編布」という編み方で布を編んでみます。

* 事前のお申し込みが必要です。

* 保護者は保険料が1人100円かかります。



★ものづくり教室は、開催日1か月前より風土記の丘研修センターにて参加お申し込みを受け付けます。

原始古代の技に学ぶ（一般の方対象）

煉香作り 10月16日（土）
香料を練り合わせてオリジナルの煉香を作ります。

トンボ玉作り 10月30日（土）

重要文化財の土偶を作る 11月20日（土）
あの有名な群馬県郷原遺跡出土の重要文化財「ハート形土偶」や山形県西ノ前遺跡出土の重要文化財「立像土偶」を作ってみます。

トンボ玉作り 10月30日（土）
古代の貨幣をつくる 12月11日（土）・18日（土）

草木染め 12月25日（土）

草木染めと原始機織り
1月22日（土）・29日（土）・30日（日）

縄文土器作り 2月5・12・26日（土）
青銅鏡作り体験 3月5日（土）・13日（日）

毎回人気の青銅鏡作り。鋳型を作り、湯入れ（鋳込み）作業を見学、その後磨きの作業をします。

* 事前のお申し込みが必要です。

* 教材費・保険料が必要です。



展示会・イベント

◆**考古博物館の日イベント「古代衣装を着よう」** 10月30日（土）・11月27日（土）・10月31日・11月13日（土）
10・11月は貫頭衣や巫女、高松塚古墳の壁画に描かれた女官などの古代衣装を着てみます。

◆**どんぐりクッキーイベント** 11月3日（水・祝）
縄文人の主食であったどんぐり。そのどんぐりの入ったクッキーを特別展に入館された先着100名の方にプレゼント！

◆**県民の日イベント「国指定史跡銚子塚古墳・丸山塚古墳を巡ろう」** 11月20日（土）
県民の日は特別展・常設展が観覧無料。考古博物館西側にある国指定史跡銚子塚古墳・丸山塚古墳を巡るイベントも開催。

◆**第47回史跡文化財セミナー 米倉山と周辺古墳群** 10月24日（日）
当館学芸員の説明を聞きながら、甲府盆地南部にある米倉山と国指定史跡銚子塚古墳を含むその周辺古墳群を歩いて巡ります。

◆**冬季企画展「甲府市内の出土品Ⅲ～古代の道、中道からの眺め～」** 12月11日（土）～1月30日（日）
第3回目の冬季企画展。今回は甲府市教育委員会が発掘調査した甲府市中道地区の遺跡の遺物を展示します。

◆**平成23年 新年干支展** 1月2日（日）～1月30日（日）
平成23年の干支である「卯」に関する資料をエントランスホールにてミニ展示します。

◆**古代のもちつき** 1月2・3日（日・月）
弥生時代の木製品をモデルに作った竪杵で黒米など古代米入りのお餅をついて試食します。

◆**こうこはく de タッチ&トーク** 1月22日（土）
学芸員が館内のご案内。いつもは触ることのできない貴重な土器などの出土品に触れることもできます。

◆**風土記の丘望見展** 2月1日（火）～3月20日（日）風土記の丘研修センターにて開催します。

◆**第8回わたしたちの研究室展示会** 2月8日（火）～3月6日（日）
応募していただいたすべての県内の小中学生の考古学や歴史学に関係した研究成果を展示します。

◆**考古博冬まつり** 2月26日（土）新企画です。内容は計画中…お楽しみに。

◆**山梨の遺跡展 2011** 3月12日（土）～4月10日（日）
主に平成22年度、山梨県内で発掘調査された遺跡の調査・整理作業の成果を展示します。山梨県埋蔵文化財センター主催。

★イベントの詳細はホームページに随時掲載していきます。また、お電話でお気軽にお問い合わせください。

★お申し込みが必要なものは開催日の1ヶ月前から参加お申し込みを受け付けます。

考古博物館協力員さんに活躍していただいています！

ミュージアムショップ・常設展解説（ボランティアガイド）

考古博物館にあるミュージアムショップは、考古博物館を様々な面でサポートしてくださっている考古博物館協力が運営しています。会員の協力員はボランティアです。ショップでは協力員さんがにこやかに商品をご案内しています。また昨年度から協力員による常設展示の解説（ボランティアガイド）を行っています。気さくで楽しいガイドさんは来館者の皆さんを喜ばせているようです。ガイドさんの目印はワイン色で「山梨県立考古博物館協力が ボランティアガイド」と書かれた白いメッシュベストです。

ぜひ来館された際にはボランティアガイドをご活用ください。またミュージアムショップへもお立ち寄りください。協力員さんが笑顔で皆様をお迎えます。



※解説ができる日は不定期です。考古博物館ホームページに予定日を掲載しております。



考古博物館協力がブログも更新中。商品なども掲載。 <http://www.y-kyouryokukai.jp/>

歩いて学んで体験する

○考古博物館および周辺古墳の説明メニュー 当館のおすすめコース

- 考古博物館見学…展示室概略コース 40～60分
エントランスホールにて概略を説明後、職員が先導して詳細説明を行います。
 - 古墳見学…現地同行概略コース 30～50分
古墳現地まで職員が同行し、古墳の概略説明を行います。
- *上記以外のコースについては、風土記の丘研修センター※1までお問い合わせいただくか、考古博物館ホームページをご覧ください。

学校・団体用



<http://www.pref.yamanashi.jp/kouko-hak/>

*見学する人数に応じて、コースを選択・設定することができます。グループ分けなどにより最大250名程度対応できます。

○原始・古代の技術体験学習メニュー ※2

| 区分 | 所要時間 | 内容等 | 人数等 | 材料費 |
|---------|---------|---|--------|------------|
| 古代の火起こし | 約40～50分 | 古代の火起こしの概要説明とまいぎり式火起こしを体験します。1グループ(4～6名)に1組の発火具で、時間内に交代で体験します。 ※小学校3年生以上(小学校5年生以上が理想です) | 130名まで | - |
| | 約60～80分 | 原始から近世までの火起こしに関する詳細説明と主にまいぎり式を用いた火起こしを体験します。もみぎり式やひもぎり式、弓切りや火打ち式等の火起こし体験も可能です。 ※小学校3年生以上(小学校5年生以上が理想です) | 30名まで | - |
| まが玉作り | 約80～90分 | 素材は滑石(20×10×30cm)。砥石や紙ヤスリで削ってまが玉を作ります。時間の制約上、製作途中で持ち帰り自宅や学校で仕上げることもできます。 ※小学校4年生以上(小学校5年生以上が理想です) | 50名まで | 1人 150円 |
| 古代の編み物 | 約80～90分 | 編布(アンギン)は、カラムシやミヤマイラクサ、麻などからとった植物繊維を素材とする日本最古の布で、各地の縄文時代の遺跡から発掘されています。当館では「越後アンギン」にならない専用の編布台を使って、麻ヒモでコースターを作ります。 ※小学校5年生以上 | 30名まで | 1人 100円 |
| 縄文の土鈴作り | 約30～60分 | 一人50gの粘土で球形の土鈴を製作します。半球形のを二つ作り、中に粘土の粒を数個入れつなぎ合わせます。表面をきれいにし、文様を入れます。1週間ほど乾燥させた後、野焼きで焼成させます。 ※小学校4年生以上(小学校5年生以上が理想です)※宅配便での送付も可能です(別途学校負担)。 | 50名まで | 1人 100円 |

※1 小・中学校、高等学校等の見学・体験のお申し込みは、TEL055-266-5286(風土記の丘研修センター)へ
小・中学校、高等学校等以外の団体で見学のみ場合は、TEL055-266-3881(考古博物館)へお願いします。

※2 体験学習は、考古博物館見学校に限りです。
*考古博物館(古墳)から風土記の丘研修センターへは、遊歩道が設けられています。(20～25分程度かかります。)

○古代衣装レプリカ教材貸出

博物館では、学校向けに古代衣装の貸し出しを行っています!!

- ☆弥生時代や古墳時代の服(貫頭衣)
- ☆古墳時代の豪族や武人の服(胡服)
- ☆まじないや祭祀をつかさどった巫女の服
- ☆高松塚古墳の壁画に描かれた女官の服
- ☆高松塚古墳の壁画に描かれた官吏の服



※上記の衣装をそれぞれ3着用意してあります。
実際に手に取り着用することによって、歴史を身近に感じ、古代人の生活の一端をイメージして膨らませることにより、学習の機会を広げてください。

古代衣装貸出、職場体験・インターンシップのお申し込みは、
TEL 055-266-3881(考古博物館まで)

○職場体験・インターンシップ受入れを行っています。

当館では、毎年県埋蔵文化財センターと共同で中学生の職場体験学習及び高校生のジュニアインターンシップの受入れを積極的に行っています。今年度は、北杜市立明野中学校や県立白根高校の生徒など9校24名の生徒の皆さんが来館し、体験を行いました。

※体験の主な内容(期間に応じて内容が変わります)

- 博物館と学芸員について(講義)
- 常設展の概要(見学)
- 教育普及活動
- 土器の拓本・発掘体験など



小・中学生の研究成果の募集しています！ 第8回わたしたちの研究室

夏休みの自由研究や選択社会、総合的な学習の時間など、児童・生徒の研究作品を募集しています。

この事業は、小中学生のみなさんが考古学や歴史の楽しさを知り、興味を持つ機会とするために実施しております。優秀作品を表彰する他、応募いただいた研究成果すべてを公開・展示いたします。

| | |
|------|--|
| 内 容 | 山梨県の考古学や歴史学などの社会科歴史的分野に関する研究成果 |
| 対 象 | 県内の小中学生（個人やグループ、学級・学年・学校単位） |
| 部 門 | 個人研究部門・小学校の部 個人研究部門・中学校の部 児童・生徒がそれぞれ自由なテーマで、または教育課程において統一したテーマで取り組んだ個人研究・作品およびグループ研究・作品 |
| 表 彰 | 団体研究部門 学級・学年・学校（部活動等を含む）で行った研究または統一したテーマのもとで研究した児童・生徒個人の成果をとりまとめたもの、あるいはその指導過程 |
| 表 彰 | 3つの部門それぞれ 最優秀賞（教育委員長賞）1名、優秀賞（教育長賞）2名 努力賞（県考古学協会賞）若干名、奨励賞（館長賞）若干名 |
| 応募規定 | ①学校で取りまとめて郵送もしくはご持参ください。 ②研究成果（表紙）の作品には学校名・学年・氏名・ふりがな・テーマを記載してください。 ③申し込み時に「参加申込書」(様式1)と「展示用解説書」(様式2, 団体部門のみ)をご提出ください。 ④未発表のものであれば過去（概ね1年以内）に研究した成果でも応募可とします。 |
| 応募期間 | 平成22年9月1日(火)～11月28日(日) |
| 表彰式 | 平成23年2月6日(日) |
| 発表会 | 平成23年2月6日(日) |
| 展示会 | 平成23年2月8日(火)～3月6日(日) |
| | ※ご応募の詳細・応募用紙などは当館 web ページに掲載しております。 |

目指せ今年も8館制覇！ 12月26日(日)まで開催中！！

縄文王国山梨2010スタンプラリー

今年も縄文王国山梨実行委員会では県内の8館を巡るスタンプラリーを夏から冬にかけて開催しています！

縄文王国8館をまわって、スタンプを集めて応募すると素敵なミニチュア土器がもらえるかも♪4館でも嬉しいプレゼントがもらえます。

スタンプラリー期間中、各館で企画展や特別展、イベントなどを随時開催して皆様のご来館をお待ちしております。



※スタンプラリーの台紙は実施8館にあります

考古博物館スタンプ



スタンプラリー実施8館

山梨県立博物館、釈迦堂遺跡博物館、
韮崎民俗資料館、谷戸城ふるさと歴史館、
北杜市埋蔵文化財センター、富士吉田市歴史民俗博物館、
南アルプスふるさと文化伝承館、山梨県立考古博物館

※詳しくは、考古博物館までお問い合わせください。

縄文王国山梨のブログもあるよ！

<http://ameblo.jp/kingdom-of-jyoumon/>



縄文王国山梨巡回イベントを平成23年1月29日(土)に釈迦堂遺跡博物館にて開催決定！いろいろな縄文体験ができます。詳細は決まり次第ブログなどでお知らせします。

考古博物館・風土記の丘研修センター利用のご案内

山梨県立考古博物館 TEL 055-266-3881 FAX 055-266-3882

開館時間 午前9時から午後5時まで
ただし、入館は午後4時30分まで
休館日 毎週月曜日（祝祭日・振替休日を除く）
祝日の翌日（日曜日・祝日を除く）
12月29日～1月1日

※次の場合観覧料が免除になります

- ・65才以上の方（ただし、特別展は県外の方を除く）
- ・障害者手帳をお持ちの方
- ・毎週土曜日の小・中・高校生
- ・県民の日（11月20日）
- ・県内の学校の教育課程での見学（下記参照）

県内の学校の利用と観覧料免除について

- ・教育課程（県内の小・中学校、高等学校、特別支援学校）で入館される場合は観覧料が免除になります。
- ・見学予定日の10日くらい前までに、観覧料免除申請書を提出してください。
- ・見学時間を充分にとり、ゆっくりと見学できるようにしてください。
- ・できるだけ下見をし、担当と打ち合わせをしてください。

学校見学の申し込みと問い合わせ先
055 (266) 5286 風土記の丘研修センター

交通

- 路線バスの利用
 - ・甲府駅より豊富行（中道橋経由）－「県立考古博物館」下車
 - ・甲府駅より市立甲府病院行－市立甲府病院で下車乗り換え・富士急平和観光バス古閑町行－「風土記の丘農産物直売所」下車
- 自家用車の利用
中央自動車道甲府南インターチェンジ前

風土記の丘研修センター TEL 055-266-5286 FAX 055-266-5287

休館日 毎週月曜日（祝祭日の場合は翌日）
12月29日から1月3日

